



宮田中だより 2019年 1月号



横浜市立宮田中学校 電話045-331-5288

謹賀新年「宮田中は創立70周年を迎えます」

校長 上原 浩

～前身・宮田国民学校は保土ヶ谷区と西区の架け橋～

昭和20年（1945年）8月15日 太平洋戦争終結

昭和22年（1947年）教育基本法、学校教育法により、六三制の新学制が実施。

横浜市内に市立「新制中学」43校が創立・開校

昭和24年（1949年）1月10日 宮田中学校創立、4月1日 開校



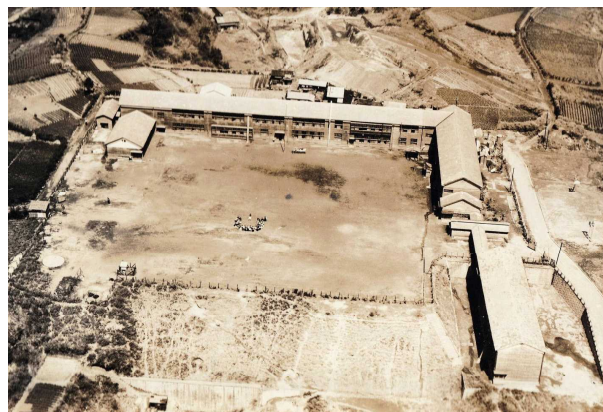
戦後、全国各地の多くの都市が焼け野原となり、食糧難、物資難の中、新たに9年間の義務教育の最終3年間を担う新制中学が誕生し、その2年後に宮田中が創立しました。宮田の「学校沿革誌（校内に保管されている文書）」には、「保土ヶ谷区宮田町一の一〇〇番地、旧市立宮田国民学校（戦災にて焼失、廃校）跡に新学制による市立宮田中学校創立」と記されています。当時は全国一斉に新制中学校が次々と開校したため、校地・校舎が不足し、多くの小学校が統廃合されたそうです。宮田中も廃校となった宮田国民学校の跡地に出来ました。創立当時の宮田中の校舎は、焼失した宮田国民学校の校舎の土台を再利用し、その上に木造で建てられたと聞いています。校舎の配置も現在とは異なり、グラウンドの北側にも長い木造校舎がありました。

ところで、前身の宮田国民学校について調べると、なかなか資料が見つかりませんでした。ようやく一冊の本にたどり着くことができました。昭和32年、新学制十周年記念事業で編集された「横浜市学校沿革誌」。その中に「新学制により廃校となった小学校」の欄があり、次のように記載されていました。

「創立昭和14年3月10日 廃校昭和22年3月31日

高等科のみの小学校として平沼、保土ヶ谷、峰（峯）、宮谷の各小学校の高等科を収容して横浜市宮田高等小学校と称して創立。昭和16年宮田国民学校と改称。昭和19年宮谷国民学校を借用し移転し、校舎を日産重工業に貸与。昭和20年5月29日の空襲（横浜大空襲）で校舎全焼。昭和21年1月宮谷、岡野、星川、保土ヶ谷に分割収容して休校。以後宮谷国民学校で事務処理を行う。昭和22年新学制の発足により廃校。」

文中の「高等科」は、小学校6年卒業後に進む2年間の課程（年齢では現在の中1,2）で義務教育ではなかったそうです。悲惨な戦争を挟んだ激動の8年間に平沼小、宮谷小、保土ヶ谷小、峯小を卒業した児童が集まり2年間学ぶ場であったのです。保土ヶ谷小と峯小は保土ヶ谷区、平沼小と宮谷小は西区。その両区から通った学び舎が現宮田中の礎になっています。現在、宮谷小学区の一部が宮田中学区になっているのは当然の話だと思いつつ、宮田には保土ヶ谷区と西区を繋ぐ役割もあるのではないかと感じました。



さて、新たな1年が始まりました。5月から新しい元号になり、この節目の年に宮田中は70周年を迎えます。思いを新たに、今の自分が集中して地道に取り組みなくてはいけないことを確認し、行動に移す。そして新たな夢を描いて欲しいと願います。「ポーっと生きている」と誰かに叱られてしまいま

開校後間もない宮田中（写真右側が浅間台小敷地） すよ！

地域清掃



雨のため1日遅れとなった12/13(木)、地域清掃を行いました。同様な活動は多くの学校で行われていますが、「全校一斉」で行う学校はあまり聞いたことはありません。当日、いくつかの清掃場所を巡ってみると、青いジャージを着た大勢の生徒たちが活躍していました。通常、ゴミを拾うだけではすぐに片付いてしまうのですが、「宮田伝統の地域清掃」では、校外委員さんや地域の方々の協力で、本格的に落ち葉を片付けている地点が多くありました。翌日、出張に向かう途中、綺麗に掃き清められた公園を眺めながら温かい気持ちで満たされました。



～自販機利用後の片付け・分別に協力を！～

先月号で取り上げた自販機に関わる改善活動。再び、2年学代が片付けをしてくれました。水道の水はかなり冷たくなる中、空き容器を一つ一つ丁寧に洗っていました。生徒の皆さん、購入後は各自が責任を持ってすすいで分別をしっかりやりましょう！学代の皆さん、ありがとう！！



自分でお年玉？2年家庭科冬休み課題は『手作り弁当』！

年明け最初の授業日、昼食前の2年生の教室はいつになく(いつも?)賑わっていました。実は、冬休みの家庭科の課題『手作り弁当』を持参することになっていたのです。もちろん、作り方等はレポートにまとめて提出。照れながらも力作を披露してくれました。キャラクターを描いたもの、ハート型の卵焼き等々、食べるのがもったいないくらいのお弁当がたくさんありました。「食」は健康＝人生を支える大切なものです。自分で工夫して作ることで、これまで以上に関心を高め、また、一食の食事を作ることがどれ程大変なことか理解できたことでしょう。



また、



今後のおもな予定

- 1/7(月)授業開始・教育相談(～11)
- 1/16(水)☆私立高校推薦出願
- 1/24(木)1年百人一首大会
- 1/25(金)☆私立高校一般出願
- 1/28(月)☆公立高校共通選拔出願



☆進路日程は個々に違う場合があります。



- 2/5(火)3年学年末試験
- 2/14(木)～ ☆公立高校共通選抜 **Fight!**
- 2/20(水)2年百人一首大会
- 2/21(木)～22(金)1・2年市学習状況調査
- 2/26(火)3年卒業遠足/PTA総会
- 1・2年授業参観・学級懇談会
- 2/27(水)☆公立高校共通選抜合格発表
- 2/28(木)～3/1(金)1・2年学年末試験
- 3/10(日)授業日(卒業式準備等)
- 3/11(月)卒業証書授与式
- 3/12(火)代休



表彰

第68回『社会を明るくする運動』作文コンテスト

神奈川県更正保護女性連盟会長賞(黒岩県知事の印が押されていました)

濱田 美羽さん 「黄色い羽と小さな勇氣」

